

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社  
東京都中央区日本橋本町4-3-8  
担当  
TEL(03)3270-2701  
FAX(03)3270-2720  
緊急連絡 同上  
改訂 平成21年12月2日

化学物質等のコード : 1220-2350

化学物質等の名称 : 臭化鉛( )

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 毒性物質  
危険性 : 不燃性であり、通常の取扱で危険性は低い。  
有害性 : 飲み込んだり、吸入したり、あるいは皮膚に触れると有害である。多量の経口摂取により吐き気、嘔吐、胃けいれん等の急性鉛中毒を起こすことがある。  
環境影響 : 水生生物に対し強い毒性がある。  
おそらくヒトに発がん性がある (IARC:グループ2B)。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品  
化学名 : 臭化鉛( )  
成分及び含有量 : 98.5%以上  
化学式または構造式 :  $PbBr_2$   
分子量 : 367.01  
官報公示整理番号(化審法): 設定されていない  
(労安法): 設定されていない  
CAS No. : 10031-22-8  
EINECS No. : 2330844

4.応急処置

目に入った場合 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、眼科医の手当を受ける。  
吸入した場合 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、暖かくして安静を保ち、呼吸に異常が認められる場合は人工呼吸又は有資格者がいる場合は酸素吸入を行い、医師の診断を受ける。  
皮膚にふれた場合 汚染した衣類等は速やかに脱ぎ捨て、触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸でよく洗い落とし、医師の手当を受ける。  
飲み込んだ場合 大量の水を飲ませて速やかに吐かせる。必要な場合は医師の診断を受ける。

5.火災時の処置

本品は不燃性物質である。火災時、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。

6.漏出時の措置

作業の際には保護具を着用し、掃き取る、真空で吸い取るなど、できるだけ粉塵が飛散しない方法で空容器に回収する。この際、風下では作業しない。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い上の注意  
吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。  
粉塵を吸入しない。  
取扱いは換気の良い場所で行い、漏れ、あふれ、飛散させないようにする。  
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な取扱をしない。  
保管上の注意  
密閉して直射日光を避け冷暗所に保管する。  
水濡れしないように室内に保管する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 0.05 mg/m<sup>3</sup> (Pbとして)  
許容濃度 日本産業衛生学会：0.1 ppm(Pb)  
ACGIH TLV-TWA 0.15 mg/m<sup>3</sup> (Pb)

### 設備対策

・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。

### 保護具

・状況に応じ、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴、防塵用マスク、送気マスク、空気呼吸器等を使用する。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

外観形状特性 白色粉末  
比重、嵩比重 6.66  
融点 373  
沸点 918  
溶解度 水にほとんど不溶 [0.454g/100g(H<sub>2</sub>O)]  
揮発性 なし

---

## 10. 安定性及び反応性

引火点 なし  
可燃性 なし  
安定性・反応性  
発火点 なし  
発火性 なし  
発火性(自然発火性・水との反応性) なし  
自己反応性・爆発性 なし  
粉塵爆発性 なし

---

## 11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

### 毒性

急性毒性 データなし  
亜急性毒性 データなし  
慢性毒性 神経系及び腎臓障害を起こす。(鉛中毒)  
刺激性(皮膚、眼) : 眼や皮膚に刺激を与える。  
感受性 : データなし  
変異原性 : データなし  
変異原性(微生物、染色体異常): データなし  
皮膚腐蝕性 : データなし  
がん原性 : 無機鉛化合物として  
IARC: グループ2B(ヒトに対して発がん性がある可能性がある)  
生殖毒性 : データなし  
催奇形性 : データなし  
安全管理上の留意事項 : データなし  
その他 : データなし

---

## 12. 環境影響情報

分解性 : データなし  
蓄積性 : データなし  
魚毒性 : データなし

---

## 13. 廃棄上の注意

### 沈殿隔離法

水に溶かし、消石灰、ソーダ灰等の水溶液を加えて沈殿させ、更にセメントを用いて固化し、溶出試験を行い溶出量が基準以下である事を確認して埋立処分する。

又は、産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

---

## 14. 輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実にを行う。  
該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。  
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)

国連分類 : クラス 6.1 (毒物)  
国連番号 : 2291 (鉛化合物(水溶性)) PG III  
海洋汚染物質 : 該当(P物質)

15.適用法令

労働安全衛生法 施行令第18の2別表第9「名称等を通知すべき有害物」 411  
施行令第18条 「名称を表示すべき有害物」  
化学物質管理促進法(PRTR法) 特定第一種指定化学物質No.305  
(改正前PRTR法: 1-230 )  
毒物及び劇物取締法 劇物(第二条別表第二)  
消防法 非該当  
船舶安全法(危規則) 毒物類  
航空法 毒物  
海洋汚染防止法 海洋汚染物質(P物質)  
大気汚染防止法 有害物質(鉛および鉛化合物)  
水質汚濁防止法 有害物質( " )  
土壌汚染防止法 特定有害物質( " )

---

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社  
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)  
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編  
化学大辞典 共同出版  
安衛法化学物質 化学工業日報社  
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版  
化学物質安全性データブック オーム社  
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版  
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修  
中央労働災害防止協会編

---

このデータは作成の時点における知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。